



あけまして
おめでとう
ございます

迎春

ノロウイルス感染症の話

施設長 吉田憲一

皆様新年おめでとうございます。皆様にとって本年が良い年でありますように。今回は、感染性胃腸炎のなかでも今冬爆発的に流行している、ノロウイルス感染症の話をしてみたいと思います。下痢、嘔吐、発熱、などを主症状とする感染症を感染性胃腸炎と呼びます。大別して細菌性、ウィルス性、その他（原虫、真菌など）があります。ノロウイルス感染症（以下ノロと略す）は、ウィルス性感染症のひとつで、ウィルス性ではほかにロタウィルスやアデノ、札幌などが有名です。余談ですがサッポロウィルスは1970年代札幌医科大学で、発見されたものですしロタウィルスは便が灰白色になる事でよくしられています。さて本題にもどって、ノロの最大の問題はその強力な感染力です。乾燥に強く（室温で数週間生存とされる）、アルコールに抵抗性をしめし、僅か数百から数十のウィルス量でも発症すると言われています。感染経路は、基本的に経口感染で、吐物、汚物より手指を介して、汚染された食物（カキなどの魚貝類が有名）水を介して、乾燥した吐物、汚物が微細な粉塵となりそれを吸い込むといった経路があります。従って予防には、前述の経路を断てば良い訳で、充分な手洗い（流水で30秒）、充分な加熱、吐物、汚物の塩素系薬剤による迅速な処理などが求められます。救いは、通常重症化する事は無く数日から1週間程度で軽快します。不幸な転帰をとる事もありますが、その場合は多くのケース、元々の基礎疾患が重篤で有ったと言われています。年末年始は人の動きが活発になる時期です。感染の危険性も当然高まるわけで、むやみに人混みにでかけないとか、寒い時期ですが、食べ物には夏季と同様十分な注意を払うなど自衛する事も大事です。それでは、皆さん良い御年を。





毎年恒例のクリスマス会を、年末に実施しました。今年は、クリスマス会翌日の16日に衆議院選挙が行われるなど、読んで字のごとく師走らしく慌ただしい年末になったのではと思います。年も明け、ようやく日常の生活に落ち着きが戻り始めた今日この頃、慌ただしかった思い出の一つを紙面で振り返ってみてください。多忙により参加できなかった方にも様子が伝わるといいのですが... 内容的には、ぜひぜひ音をお伝えしたい盛大なパーティだったのですが、紙面では難しいので、いつもと同じく写真と文章にて報告させていただきます。

2012年12月15日 14時から15時2Fにおきまして、皆様のご協力のより、クリスマス会を無事終えることができました。3F入所者、1Fデイケアのご利用者やご家族・知人の方も多数参加していただきありがとうございました。

会は毎年恒例となりましたオトラ・ヴェスさんの素晴らしいケーナ・ギター・太鼓の演奏から始まりました。観客となった皆が透明感のある響きにとても聞き入っていました。伝統的な南米音楽の曲や日本の曲やクリスマスソングまでいろいろなジャンルの演奏をしていただきました。次は職員による出し物でした。2人羽織でケーキ

を上手に?面白く?食べるというものでしたが、意外にあっさりうまく食べられてしまい・・・みんな楽し

めているか心配でしたが、いつもあまり表情を出されないご利用者の笑い声や「ガンバレー」の声が聞こえてきて、盛り上がったものとなりました。恒例となりましたハンドベルの演奏も、少ない練習時間にも関わらず、無事終えることができました。来年レベルアップしてまた演奏を披露したいと思います。最後には赤鼻のトナカイを全員で合唱しました。来年はパワーアップしてお越しいただいている皆様がもっと参加できるクリスマス会を開催したいと思います。

2階介護 中山



を上手に?面白く?食べるというものが、意外にあっさりうまく食べられてしまい・・・みんな楽しめているか心配でしたが、いつもあまり表情を出されないご利用者の笑い声や「ガンバレー」の声が聞こえてきて、盛り上がったものとなりました。恒例となりましたハンドベルの演奏も、少ない練習時間にも関わらず、無事終えることができました。来年レベルアップしてまた演奏を披露したいと思います。最後には赤鼻のトナカイを全員で合唱しました。来年はパワーアップしてお越しいただいている皆様がもっと参加できるクリスマス会を開催したいと思います。



今年最後のイベント、クリスマス会が去る平成24年12月15日（土）に開催されました。今年のプログラムは昨年に引き続き、南米音楽バンド・オトラヴェスのすばらしい音色の演奏から始まりました。楽曲は、

「浜辺の唄」
「ホワイト・クリスマス」
「コンドルは飛んでいく」
「花祭り」 etc. • •



利用者様もご家族様もそして職員もそのメロディーに聞き入り心癒され、知っている曲は口ずさみ一緒に手拍子をとり盛り上りました。

次に今年の出し物・二人羽織クリスマスバージョンが行なわれ、3組の職員がメチャメチャにクリスマスケーキを食べ、利用者様からがんばってのエールを受けておりました。菊池事務長、2F下枝、3F片山副主任が顔中クリームだらけになりながら皆大笑いでたくさんの拍手の中終えることが出来ました。

次に参加者全員で「赤鼻のトナカイ」を唄いクリスマスムードも高まり、そして職員によるピアノ、ケーナ、ハンドベルで「ジングルベル」を演奏し最高にクリスマス気分が高まりました。

今年最後の行事として

多いに盛り上がり、ご利用者の方々、ご家族、職員も楽しい時間を過せたのではないかと思います。

皆様元気に参加して下さった事を職員一同大変うれしく思ひ、その笑顔を来年への意欲につなげていきたいと思ひます。利用者様も来年もまた元気にご参加下さい。
ありがとうございました。



3階介護 高橋



デイのクリスマス会は、4日間実施しました。職員の出し物としては、卓球ゲームと劇を2日間ずつ実施し、全日を通してハンドベルを披露しました。

卓球ゲームは、職員によるトーナメント戦を実施するに際し、利用者様に優勝者と最下位を予め予想してもらうという内容です。的中者にはもちろん景品が出ます。さすがに両方ともに正解する方はいないだろうと誰もが思っていましたが、予想に反し見

事に的中された方がいて本当に驚きました。また、利用者様の職員への応援がとても盛大だったので、職員みなとても心強く感じられたと思います。私は、すぐに負けてしま



ったので、（来年こそは）と心に誓い、これから練習に励むつもりです。劇は、桃太郎を行いました。練習の成果もあり、無事に終えることができました。楽しんで頂けたでしょうか？

もう一つの演物である職員のハンドベルは、クリスマスソング4曲を披露し、最後の1曲「見上げてごらん夜の星を」は、職員演奏に合わせて、利用者様に歌っていただきました。とても力強くまた元気な歌声に、演奏しながらも深い感動を覚えました。今でもその時の感動がよみがえります。

ケーキ作りは、ロールケーキに、生クリームやチョコなどを利用者様自身にデコレーションしていただきました。



様も、それぞれの一年を、様々な思いで振り返っていたのではないでしょうか。

今回のクリスマス会は、私としては、とても楽しくもあり、



どのケーキもとても美味しそうに出来上がってきました。

最後はケーキを食べながらのスライドショー。この1年に撮りためた写真を、上映しました。画面に映された、笑顔溢れる皆様の姿をみると、「来年も、写真のような笑顔を引き出せるように頑張ろう」という気持ちになりました。利用者



施設からのお願い 施設からのお願い

季節性インフルエンザやノロウイルスの流行シーズンになりました。当施設におきましても、対策の一環として職員のマスク着用などを実践しております。またご面会の方々にもご協力を

いただきたいこと等がありますので、来所時におかれましては、入口に掲示しております注意点に、眼を通していただきたいと存じ上げます。



とても記憶に残るものとなりました。次のクリスマス会も、喜んで頂けるクリスマス会にできればと思います。

通所介護 上野



年末を迎える喜ばしさを作れる際に、最近では新年を迎える喜ばしさよりも、去りゆく年に寂しさを覚える事が多くなつた気がします。今回は、辰年から已久に新規で竜頭蛇尾となぬよう寂しさは忘れ、今後もこの新聞を作つてみたいと思います。

編集後記

今年も奉らせて頂きました。集まったお賽銭は、後日五靈神社へ奉納させて頂きます。

田
谷
神
社
ケ
ア
ボ
ー
ト